地球現象論: 地球の地形

地球流体電脳倶楽部

1996 年 8 月 2 日

目 次

1 緯度別海陸面積比 **2**

2 参考文献 **3**

Abstract

ここでは地球の地形を示す.

1　緯度別海陸面積比

表 1 は緯度帯毎の海と陸の面積およびその比を示している.

緯度	面積 (10^6km^2)		百分率 (%)	
	陸地	海洋	陸地	海洋
° °				
90－80 N	0.383	3.524	10	90
80－70 〃	3.438	8.156	27	73
70－60 〃	13.326	5.579	71	29
60－50 〃	14.678	10.929	57	43
50－40 〃	16.474	15.023	52	48
40－30 〃	15.570	20.835	43	57
30－20 〃	15.097	25.101	38	62
20－10 〃	11.244	31.534	26	74
10－ 0 〃	10.068	34.016	23	77
90－ 0 N	100.278	154.695	39.4	60.6
0－10 S	10.394	33.690	24	76
10－20 〃	9.420	33.358	22	78
20－30 〃	9.310	30.888	23	77
30－40 〃	4.140	32.265	11	89
40－50 〃	0.971	30.526	3	97
50－60 〃	0.213	25.394	1	99
60－70 〃	1.788	17.117	9	91
70－80 〃	8.468	3.126	73	27
80－90 〃	3.908	0.000	100	0
0－90 S	48.612	206.364	19.0	81.0
90 N－90 S	148.890	361.059	29.2	70.8

表 1 地球の緯度帯毎の海陸の面積とその比. (理科年表, 1990)

2　参考文献

国立天文台編, 1990 : 理科年表. 丸善, 1032pp.

謝辞

本稿は 1989 年から 1993 年に東京大学地球惑星物理学科で行なわれていた, 流体理論セミナーでのセミナーノートがもとになっている. 原作版は保坂征宏による「地球現象論」(90/9/4) であり, 林祥介によって地球流体電脳倶楽部版「地球現象論」として書き直された. 構成とデバッグに協力してくれたセミナー参加者のすべてにも感謝しなければならない.